

乳児期の多剤治療後に母子で症状の変化を経験した母子アトピーの経過 (3歳・36歳 女兒・母親)

症例 ID：001-30-OYMi | 記録日：2001年2月24日

1. 診断・治療前経過

娘は乳児湿疹からかゆみと睡眠不足が続き、抗アレルギー薬、抗ヒスタミン薬、インターン、外用薬、ステロイドを使用しました。1歳2か月頃に松本医院で治療を開始しました。母親も残った煎じ薬を飲む形で治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	娘に抗アレルギー薬、抗ヒスタミン薬、インターン、ステロイド外用薬などを使用しました。
製品名	複数使用。詳細は不明です。
強度	不明です。
使用期間	約1年間、複数の薬剤を使用しました。
中止時期	娘が1歳2か月頃の治療開始時です。
来院前／後	娘は来院前に使用歴があります。母親の使用歴は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
乳児期	娘の発症	乳児湿疹、強いかゆみ、睡眠不足が続きました。
1歳2か月頃	治療開始	煎じ薬、薬浴、外用処置を開始しました。
開始後約2か月	症状の拡大	娘の赤み、乾燥、掻破、落屑が全身へ広がりました。
同時期	母親の症状	母親に手と首のかゆみが出ました。
2歳7か月頃	娘の経過	症状部位が頭部から下肢へ移り、膝裏、足背、手足に軽い症状が残りました。
記録時点	生活変化	娘は食べられる食品が増え、母親も外食時などに軽いかゆみが出る程度となりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後約2か月に、娘のかゆみ、赤み、乾燥、掻破、落屑が広がった時期です。

5. 困りごと

- 娘の夜間症状により家族の睡眠が不足しました。
- 複数薬剤の管理と食事制限が家族の負担となりました。
- 母親にも手と首のかゆみが出ました。

6. 経過のまとめ

娘は2歳7か月頃には膝裏、足背、手足に軽い症状が残る程度となり、食べられる食品も増えました。母親は外食時などに軽いかゆみが出る程度となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。